言
ことば

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-41

送りがなを えらぼう

やさしい ★☆☆ ・ 正しい 送りがなを えらぶ

声に 出して 読んでみよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 読み方に 合う 正しい 書き方に ○を つけよう。

1 あらためる
㋐ 改める ㋑ 改ためる

2 くわえる
㋐ 加える ㋑ 加わえる

3 つたえる
㋐ 伝える ㋑ 伝たえる

4 はたらく
㋐ 働く ㋑ 働らく

5 かならず
㋐ 必らず ㋑ 必ず

6 つめたい
㋐ 冷い ㋑ 冷たい

7 あらそう
㋐ 争そう ㋑ 争う

8 のこる
㋐ 残こる ㋑ 残る



ヒント

漢字が 表す 部分と、送りがなの 部分を 分けて 考えよう。
教科書や 漢字の プリントで 見た 形を 思い出そう。

できたら はなまる

つぎまる プリント

ことば ・ つぎは 「送りがなで 読み方が かわる」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

言
ことば

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-42

送りがなで 読み方が かわる

ふつう ★★☆ ・ 送りがなで 読み分ける

送りがなに
注目しよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1 ――の 言葉の 正しい 読み方に ○を つけよう。

1 冷たい 風が ふく。
(ア) つめたい (イ) ひえたい

2 体が 冷える。
(ア) つめえる (イ) ひえる

3 国を 治める。
(ア) なおめる (イ) おさめる

4 かぜが 治る。
(ア) なおる (イ) おさる

5 九九を 覚える。
(ア) さえる (イ) おぼえる

6 朝 早く 目が 覚める。
(ア) さめる (イ) おぼめる

7 やくそくを 果たす。
(ア) はてす (イ) はたす

8 山が 連なる。
(ア) つらなる (イ) つれなる



ヒント

同じ 漢字でも、送りがなが ちがうと 読み方が かわるよ。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

ことば ・ つぎは 「送りがなを 書こう」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）

言
ことば

しょうがく4ねんせい ・ こくご ・ k4-43

送りがなを 書こう

むずかしい ★★★ ・ 送りがなを 正しく 書く

形を かえて
たしかめよう



なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ ＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

1

右の 読み方に なるように、□に 送りがなを 書こう。

1 すきな 本を 選□（えらぶ）。

2 雨の 日が 続□（つづく）。

3 シャワーを 浴□（あびる）。

4 力を 合わせて 戦□（たたかう）。

5 大切な 物を 失□（うしなう）。

6 家族を 養□（やしなう）。

7 山が 遠くまで 連□（つらなる）。

8 体が 健□（すこやか）だ。



ヒント

えらぶ・えらばない のように 形を かえて、かわる 部分を 送ろう。「連なる」「健やか」は 形で 覚えよう。

できたら
はなまる

つぎまる プリント

ことば ・ つぎは 「同じ読み方の漢字 1」

こたえは ここ
つぎの 1まいも

書体: Klee One（SIL Open Font License）